

北海道視察報告

10月11日、12日において北海道現地視察を実施しました

視察概要

- 日程
 - 令和3年10月11日（月）、12日（火）
- 視察先
 - 北海道石狩・後志・胆振地域
- 視察テーマ
 - 機械開発の現状把握
 - 視察地域における森林サービス産業の取組把握
- 参加者
 - 専門委員会
 - 松田委員
 - 柴田委員
 - 宮本委員
 - 林野庁研究指導課
 - 有限責任監査法人トーマツ
 - 住友林業

訪問先一覧

日程		訪問先	所在地
11日 (月)	11:30 ~ 15:00	森林・林業・環境機械展示実演会	苫小牧市
	15:30 ~ 17:00	NPO法人いぶり自然学校	苫小牧市
12日 (火)	9:00 ~ 10:30	一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会	千歳市
	13:00 ~ 15:00	先進的林業機械緊急実証・普及事業 現地検討会	喜茂別町

視察先の概要 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械展示実演会

■ 実演会概要

- 日程：10月10日（日）～11日（月）
- 場所：苫小牧市
- 主催：北海道、林業機械化協会
- 出展者数：68
機械メーカーのほか、林業関係企業・団体（資材、アパレル等）



イワフジ工業
植付アタッチメント



BREAKTHROUGH
位置情報共有ソリューション
soko-co FOREST



筑水キャニコム
多目的造林機械



松本システムエンジニアリング
操縦用リモコン

主な訪問先	展示機械（抜粋）
イワフジ工業	グラップル、植付アタッチメント、ハーベスタ 架線式グラップル模型（AI、リモコン）
BREAKTHROUGH	林業用ICTプラットフォーム（位置情報共有ソリューション）、AIによる丸太計測アプリ
筑水キャニコム	多目的造林機械（伐根・下刈り）
コマツ	電動ショベル ドローン・IoT活用によるスマート林業に関する展示
松本システムエンジニアリング	フェラーバンチャー（車載カメラによるリモコン操作）

視察先の概要 NPO法人いぶり自然学校 森林を活用した学習プログラム・自然体験活動等の展開

NPO法人いぶり自然学校

■ 組織・活動概要

- 2008年に「北海道らしい自然体験文化の創造」と「北海道における持続可能な地域社会の創出」を使命とするNPOねおすの支部として設立され、2015年に独立。
- 胆振地域において、「環境・自然に関わる学習プログラムの情報の収集と提供」「子どもや大人、および高齢者、障害者への自然体験活動の実施提供」を提供。
- 教育活動のほか、胆振管内の地域づくりや人材育成、森づくりボランティアのコーディネートやグリーンツーリズム推進など様々な事業を展開している。
- 苫小牧市内に事務所を置くほか、「イコロの森」にて活動拠点を設置。

■ 「イコロの森」について

- 苫小牧市の森の中にある庭園。
- 敷地内には花木や苗の販売施設、レストラン、ガーデンカフェ、ショップ、乗馬クラブが設置されている。
- 「イコロ」はアイヌ語で「宝物」の意。

視察・意見交換概要

■ 施設について

- 約13年前、ゴルフ場として開発されそうだった森林（10ha程度）を、在京企業が買い取り、ガーデンとして整備した。
- 以前は同社の関係会社が運営していたが、現在は、いぶり自然学校を含めた4団体がそれぞれ施設（研修施設、ガーデン、レストラン・カフェ、乗馬クラブ）を賃借し、共同運営している。
- 里山環境の維持活用、という目的の下で共同運営が行われている。利益優先ではなく公益性が重視されることで、かえって事業内容に自由度がある側面がある。

■ 事業について

- イコロの森のうち、研修施設を賃借して運営。
- 子供の自然体験を中心に活動していたが、前年からワーケーションに方向性をシフトしているところ。家族でできるワーケーションとして、母親・子供・父親それぞれをターゲットに、暮らし型の自然体験を提供している。
- 2泊3日、6泊7日などコースを設定しているが、まだ試行段階である。
- 研修施設を拠点として、北海道のローカルネットワークにも接続する動きもあり、新たなビジネスも生まれるなど、コミュニティづくりを促す要素も見られる。（例：名古屋の自然食品会社との商品開発、積丹の酒造とのクラフトジンの製造等）

視察先の概要 国立公園支笏湖運営協議会 森林（国有林等）を活用したアクティビティ・まちづくり

一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会

■ 組織・活動概要

- 支笏洞爺国立公園・支笏湖地区において、行政機関と地域を繋ぐ活動を実施。会員として、支笏湖地区の施設所有者・事業者をほぼすべて網羅している。
- 支笏湖地域は、森林サービス産業の観点では下記の特徴がある。
 - 森林サービス産業的なアクティビティが提供されており、いろいろなアクティビティが楽しめる場所である
 - インバウンド外国人の利用者数でベスト3に入る場所（国立公園）である

■ 視察事業者

- 今回の視察では協議会のほか、協議会員のうち下記の事業を実施している2事業者から説明を受けた。
 - オーシャンデイズ
 - ー 湖での淡水ダイビングやクリヤカヤック、支笏湖周辺の国有林内でファットバイクツアー等を実施
 - かのあアウトドアクラブ
 - ー 支笏湖でのカヌー、支笏湖から流れる千歳川でのリバーカヌー等と新たな事業として森林エリアを中心にアウトドアプログラムを用いた子供たちの環境教育プログラムを展開

意見交換概要

■ 支笏湖運営協議会

- 昭和42年設立。自然公園における集団施設地区に、行政との連携組織を作るよう指導があったことがきっかけ。
- 現在、環境省の委託事業等を実施。地域の事業者との連絡調整はできているが、主体的に連携を進めていくことが今後の課題。

■ オーシャンデイズ

- インバウンドの観光パターンとして、まずは有名観光地を訪問するが、徐々にアクティビティに移行する。その際、自然・森林・湖を使ったアクティビティに魅力がある。
- 観光客が戻ってくるとオーバーユース、ゴミ、入林許可違反など、様々な問題が出てくるため、地域のルールづくりが必要。
- しかし、規制先行ではなく、どのように共存していくか、学び・思いの共有、啓蒙発信といった点を重視して取り組んでいきたい。

■ かのあアウトドアプログラム

- 国立公園・国有林の一角をレンタルして、子供が焚火をしながら1日を振り返る場を、アクティビティに盛り込んでいる。自然の中での「学びの質や関係性の質の向上」を目的としている。
- 国立公園・国有林の活用にあたり、環境事務所・森林事務所と協議・連携して取組を進めている。
- 今後、地域の方々が集まる場所の整備や、事業を通じたオーバーユース問題の解決など、地域性を取り込んでいきたい。

視察先の概要 先進的林業機械緊急実証・普及事業 現地検討会

先進的林業機械緊急実証・普及事業 現地検討会

■ 現地検討会概要

- 日時：10月12日（火）13：00～
- 場所：喜茂別町 千歳林業社有林
- 内容：
 - R2補正・先進的林業機械緊急実証・普及事業における造林用機械の開発成果の実演
- 実施主体：先進的林業機械緊急実証普及事業コンソーシアム
 - 千歳林業・筑水キャニコム・道総研 林業試験場・北海道造林協会

■ 対象機械・実演内容

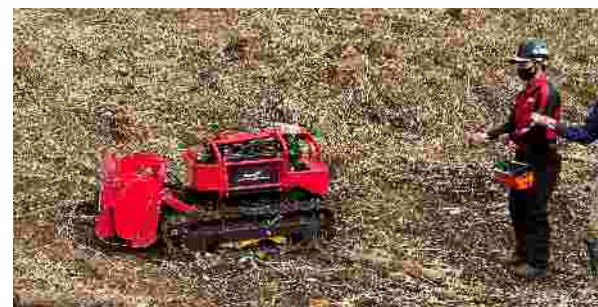
- 多目的造林作業機による地拵え：残材・伐根処理
- 遠隔操縦式植栽用穿孔機による穿孔作業（ラジコン式）
- 小型遠隔操縦式草刈機による下刈・除伐作業（ラジコン式）



多目的造林作業機による伐根処理作業



遠隔操縦式植栽用穿孔機による穿孔作業



小型遠隔操縦式草刈機による下刈作業